

## タブレットを使って学校でできること！

### 一斉学習

挿絵や写真等の拡大表示、画面への書き込み等を活用した説明や、音声、動画などを用いた視覚的に分かりやすい教材により、興味・関心が高まります。

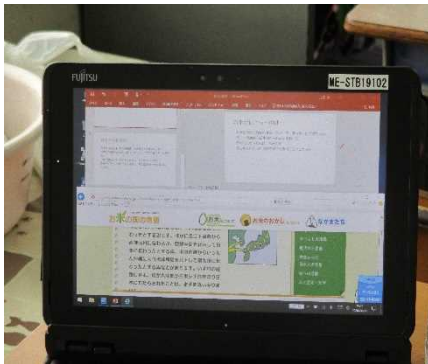
### 協働学習

タブレット端末や電子黒板等を活用し、子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となります。



### 個別学習

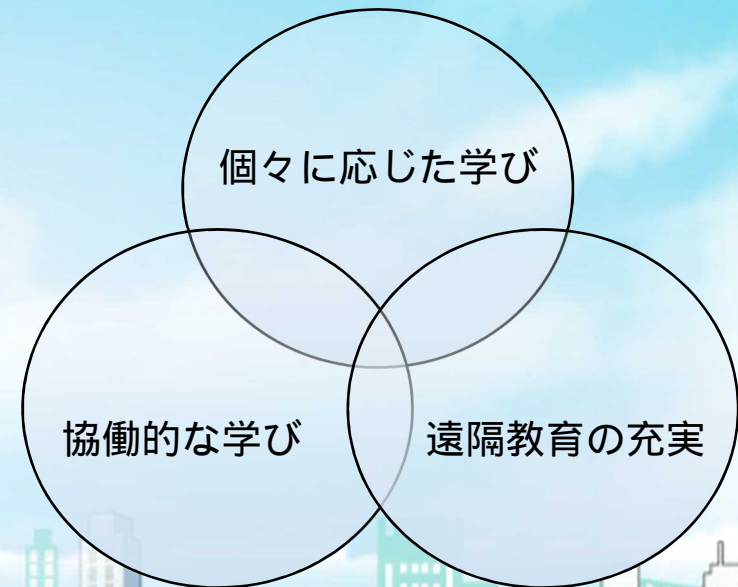
デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることが容易となります。  
また、教員が一人ひとりの学習状況を把握し、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となります。



## 児童・生徒に1人1台

タブレット端末が配布されます。

「ICTをしなければならない」ではなく...  
「ICTでなにができるのか?」



# 1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

最初はタブレット端末を触ってみることから始め、子どもたちの操作やルールを理解に合わせて、学習活動に取り組んでいきます。

## 朝の会・帰りの会

連絡帳に、予定や宿題、提出物等を書く。

今日何を提出するか、分からない。

書くことが多くて、何が大事なのが分からない。

タブレット端末を使って、予定や宿題を、先生と子どもたちで直接やり取りができます。

いつでも確認できるので、提出を忘れないようにしましょう！

大事なことは先生が配信してくれるから、ポイントを絞って書くことができる。

## 授業中

先生に指名された人だけが発表する。

意見を言いたいけど、指名された人しか言えない...

模造紙や短冊を使って意見をまとめる。

整理に時間がかかって、話し合う時間が足りない。

タブレット端末を使って、誰もが意見を出せるようになります。

タブレットなら、みんなが意見を簡単に送れる。

タブレット端末でみんなの意見や考えが短時間で整理できます。

タブレットで意見の整理がすぐにできるので、じっくり話し合いができる。

## 家庭

宿題以外の勉強の仕方が分からない。

勉強したいけど、何をすればよいのか分からない。

学校からの連絡や宿題等が把握しにくい。

学校からの連絡は？

自分の学習進度や興味に合わせて、学習を進めることができるようになります。

自分の知りたいことを自分で学べるので、勉強がおもしろい。

学校からの連絡等がタブレット端末で確認できます。

連絡や宿題がいつでも確認できるから安心。

## 1人1台タブレット端末が導入される背景は？

Society5.0時代に生きる子どもたちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並んで学習に必要なアイテムとなり、社会のあらゆる場所で ICT 活用が日常となっています。そしてこれまでの教育実践の蓄積の上に、最先端の ICT 教育を取り入れることで、これまでの学校教育は変わります。この新たな教育の技術革新は、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びに寄与するものであり、特別な支援が必要な子どもたちの可能性も大きく広げるものです。(文部科学省大臣メッセージより抜粋)

これまでの教育実践の蓄積



ICT



学習活動の一層の充実

文部科学省「GIGAスクール構想の実現」より

## 導入する端末について

ARROWS Tab Q  
OS...Windows  
県内の県立学校、他市町でも導入実績あり。  
高い耐久性が特徴。

## 主に活用するソフトやアプリ

授業の幅を広げる支援ソフト  
SKYMENU Class  
学習を活性化させる支援ソフト  
ミライシード  
遠隔教育などで利用するアプリ  
Microsoft Teams

## 保護者の皆様へ

タブレット端末は、今回紹介した便利な面がある一方、近年発生している SNS を通じてのトラブルや依存症などのリスクにも気を付けなければなりません。

今後は学校内での使用のみならず、学校の長期臨時休業時や自主学習用として、タブレット端末の家庭への持ち帰りも想定しています。

ご家庭での使用に関する使用ルールを決めるなど、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

学校から配布される「タブレット活用のルール」もお子さんと一緒にご一読ください。